



Japan Sporting Equipments Retailers Association

No.70

編集/発行:日本スポーツ用品協同組合連合会  
〒111-0053 東京都台東区浅草橋5-8-6  
東京スポーツ会館 301号室  
☎ 03-5829-6490 FAX 03-5829-6491  
ホームページ <http://www.jsera.jp/>  
E-mail [jsera@jsera.jp](mailto:jsera@jsera.jp)

(2014/8~2015/7のスローガン)

スポーツで元気な日本を創ろう!



## ご挨拶

JSERA・日本スポーツ用品協同組合連合会

理事長 重森 仁

この度の定時総会に於いて、もう一期頑張れとの激励をいただきました。責任の重さを痛感すると共に身の引き締まる思いです。皆様のご協力をいただき、難局に立ち向かう決意です。共に頑張りましょう。

さて、最近のことです。コンビニで買ったおにぎりを食べながら、営業の目的地へ向かっていました。お客様とのアポには少々時間があつたので、手前のコンビニで¥100 カフェをいただきこうと立ち寄りしました。先の、おにぎりの包装フィルムを捨てようとコンビニ前を捜しましたが、ごみ箱が見当たりません。仕方なく、車内にゴミを置いたまま、カフェを求めに店に入りました。買い求めて店を出ようとすると申し訳なさそうに小さなゴミ箱が隅に置いていました。最近、ある1社の大手のコンビニチェーンの店では、こういう光景を時々見ます。家庭ゴミの持ち込みで困っているのでしょうか。そのことは理解できるのですが、あなたの店で買ったカフェのカップ、多分どこかのコンビニで捨てることでしょうか。暗黙の了解でコンビニの弁当ガラ、次のコンビニで捨てて、そこで買ったカフェのカップは、次のタバコを買いに寄った店で捨てて・・・という具合に回りまわっていると思います。自分の店だけ楽をしようとゴミ箱を店頭になかなか置けなかったら、チョット「自己チュー」と思ってしまうのは私だけでしょうか。大げさかもしれませんが、大手だから、業界で

の責任という発想を持っていただきたいものです。我々の業界も同じことだと思います。競争原理は致し方ないとしても、スポーツ振興においては、協調したいものです。売り儲けることに徹してスポーツ振興に協力しないようでは困ってしまいます。協同組合の活動もそうです。儲け話には群がるものの、業界貢献、社会貢献となると人が集まってこないことも多々あります。

ところが、この度の定時総会、および関連事業に於いては、私の心配が杞憂に終わって良かったです。というよりも、石川県組合の皆さん、そして中部ブロックの皆さんの高い意識と強固な結束に最大限の敬意を表したいと思います。また、県知事様、ミズノ、アシックス、デサント初め各メーカーの最高責任者様、卸の社長様、関係団体のトップの方々などの出席を賜り身に余る光栄でしたが、これも主管ブロック、開催県の「おもてなし」があったからこそと感謝いたします。総会等の詳細は、別のページに委ねるとして、ここでは、今期最大の課題の一つを取り上げたいと思います。

つい先日のこと、めったにテレビは見ないのにスイッチを入れました。どのチャンネルだったのでしょうか。多分カンブリア宮殿という番組だったでしょうか。ホームセンター「カインズ」の土屋社長がクローズアップされていました。急成長を遂げるカインズホームグループ(カイ

ンズ、ベイシヤ、ワークマン、コンビニチェーン)は急成長を遂げてきましたが、ここ数年売り上げが横ばいで伸びないといえます。主な理由は、ネット通販ということらしいです。同社はその対抗措置として、オリジナル商品の開発はもちろんです。地方、地域の店舗の充実を図るといいます。

たとえば、

- \*早朝プロ用品の販売(大工さんの資材、工具の早朝販売)
- \*体験後の商品販売(マッサージ器など)
- \*店に専門家配置(たとえば、自転車売り場に元ケイリン選手)
- \*家庭用品の修理(ウオッシュレットの格安修理など) 等々

このように、全国大型チェーンでさえ、質を伴った地域密着を進めています。我々も負けないようより一層の地域密着と信頼確保を計らねばなりません。

数年前から、JSERAでは、「スポーツにおける安心の場」構築のため、体育用器具の販売、保守点検等についての講習会を実施してきました。200人余の方の受講をいただきました。この度の東京オリンピック・パラリンピックの招致成功を機に、益々のスポーツの発展には、安全、安心の視点が大切であり、国の施策としても充実したいとお話をいただきました。具体的には、経済産業省の指導を受けつつ、JASPO様と協力して、スポーツ用品の安全確保、消費者からの信用向上に向けて、小売店・メーカーが取るべき望ましい措置を調査・整理し、しかるべき講習会等を実施してスポーツ用器具の販売、保守点検に精通した小売店を「優良店」(仮称)と認定します。その制度を消費者に広く認識していただき、大いに活用していただいてスポーツ用品に起因する事故を減少させ、安全・安心にスポーツを楽しめる環境を社会に提供しようというものです。

たとえば、地域における入札に於いて、価格のみ競争が目立っています。そのため、「安全・安心の場」が脅かされています。バレーボール支柱等、後の保守点検の必要なものや、使用法を誤ると重大事故を招く恐れのあるものは、優良店から購入頂くよう経済産業省の協力を得て、文科省や関係団体に働きかけていきます。

組合員の皆さまには、まずはアンケート調査等に協力いただき、ビジョン作成後、来年度から実施予定の講習会等に積極的に参加していただき、制度構築に力を合わせていただきたい

ものです。安全・安心をキーワードに皆様と大きな付加価値のある制度に仕上げ、質の高い地域密着の切り札のひとつにしていきたいものです。

この取り組みは、メーカー様との協力、最終的にはもちろん卸様にも関わって頂く訳ですから、三層の協力事業になります。見方を変えれば、近江商人の家訓として知られる「三方よし」(売り手よし、買い手よし、世間よし)の精神を三層で具体化したものともいえましょう。

来年には、制度の概要もご提示できるかと思えます。どうかメーカー・卸の皆さん、そして、組合員の皆さんには積極的に取り組み頂きますようお願いいたします。メーカー・卸様、組合員、小売店すべて、そこへ行政をも巻き込んで「安心・安全の場」を構築したいものです。そのことは東京オリンピック・パラリンピックを機会に地域スポーツを発展させるテコの一つになるだろうと確信します。

地域スポーツの発展は、各競技団体による普及を縦糸に地域小売スポーツ店の組合が啓蒙する「安心・安全の場」に肉付けされた「信頼と密着」を横糸に織り上げていくことが必要と確信致します。蛇足かも知れませんが、地域スポーツ大会にメーカー・卸様が売店を出店されるケースがあります。その際、協会に協賛しているから、組合には協力できないと言われるケースがありますが、それでは、横糸を無視することになります。今一度申しますが、「三方よし」の精神、具体的に言えば「JSEC」の精神をご理解いただき、地域スポーツの発展、更に日本のスポーツの発展に業界挙げて取り組みたいと思います。JSERA、微力ながら全力を尽くします。JASPO様はじめ、関係諸団体の皆様、メーカー・卸様のご指導、ご鞭撻をお願いいたします。

先のテレビ番組で、最後に「地域企業に求めるものは、売り上げではない、地域との信頼そして連携の強化」であると結ばれました。我々組合員の多くは、小規模零細企業です。それでも、地域密着をモットーにし、地域の信頼獲得と地域との連携強化に全力を注いでいます。それなのに我々の業界には、何百、何千万以上買わないと取引を打ち切るというメーカーがあると聞きます。悲しいことです。我々組合員の最大のセールスポイントは、売り上げではありません。「地域から寄せられる信頼そしてゆるぎない地域との連携であること」を申し上げて重任の挨拶といたします。



日本スポーツ用品協同組合連合会

## JSERA第15回 定時総会 2014年石川県大会

### タイムスケジュール

平成26年  
10月21日

18:00～ 懇親夕食会「せん金沢駅前」

22日

### 定時総会・全国大会

8:45～ 9:30 JSERA理事会  
9:00～10:00 受付(組合員)  
10:00～12:00 総会  
12:00～13:00 昼食  
12:00～13:00 受付(来賓・メーカー様・卸様)  
13:00～14:00 式典  
14:00～14:20 <休憩>  
14:20～15:40 研修会 第1部(三層) 討論会  
メインテーマ  
『スポーツ小売業活性化のための女性のチカラ』  
15:40～16:05 <休憩>  
16:10～17:30 研修会 第2部(三層) 講演会  
講演 2020東京オリンピック・パラリンピックと地方への期待  
講師 元内閣総理大臣 2020年東京オリンピック・パラリンピック組織委員会会長  
森 喜朗氏  
18:30～20:30 三層懇親会

23日

### 観光ツアー

8:15 集合  
8:30 出発(ひがし茶屋街・忍者寺(妙立寺)・兼六園・  
金沢21世紀美術館・近江町市場)  
13:00 近江町市場 解散  
14:30 JR金沢駅 解散  
15:30 小松空港 解散

### 三層親睦ゴルフコンペ

6:20 集合(直接コースへ行く方は7:20に片山津GCに集合)  
6:30 出発  
8:03 スタート 片山津GC  
15:00 ゴルフ場 解散  
15:30 JR小松駅 解散  
15:50 小松空港 解散



## 全国大会を開催して



石川県スポーツ用品協同組合  
理事長 甲 秋水

石川大会に全国から来賓、メーカー、卸、組合員と総勢 200 名以上が参加して頂いたことは開催県として大変喜ばしい限りです。ただ私の中では手放して喜べないのが正直なところではあります。

組合員にとっての全国大会の成功とは何かと改めて自問してみるとこれは中々に難解な問いだと思われられます。もちろん、すべての組合員の要求に答えられる筈もないことは分かっていますが、単なる「おもてなし」をすればそれで良いとは思いません。今はもうそれで許してくれる時代ではありません。今回、石川大会の分科会には五つのテーマがありました。テーマに関する自分の想いをメーカー、卸、あるいは仲間である組合員に伝えることが出来たならば、私が思うには、全国大会の本来の存在意義はあったのではないかと思います。ただ、分科会で一度討議したからといって全ての問いに答えが出るものとは思いません。これは継続して討議しないことには成果は出ないし、一度だけで終わるとただ単に討議をしたという「アリバイ工作」に終わってしまいます。参加者の皆様から言わせれば、今回の五つのテーマは何を今更の感がします。私は、今回の分科会で成果を求めることは大変厳しいと思うのと、問いに対する答えを出すことは不可能に近いと思いません。だから古くて新しいテーマなのもそこに理由があるのだと思われられます。

そもそも分科会に問題解決能力はあるのでしょうか。というのも組合を構成している組合員が同じ体質、形態ならまだしも、各々抱えている事情

が異なります。たとえ多様なテーマで討議が出来たとしても万人が納得できる結論を出すことは大変難しいことだと思います。それでも組合、JSERA として何か見える形で組合員に方向性を示すことが

出来なければ、現状の組合員減少の加速化に歯止めがかからなくなってしまいます。全国大会の分科会は組合員の持っている問題の解決機関ではなく、各々の抱えている問題を組合員に知ってもらう。つまりは「気づき」の場の提供なのかも知れません。当然メーカー、卸にも共有してもらうことは大事なことです。私の心中では、結局のところ組合員自身の努力しかないと思う諦めと、組合だから、JSERA だから手助けをしてくれるのではないかという期待が入り混じっています。つまり、自助、公助、共助で構成されているのが組合だと私は思います。今回、開催県として準備段階から本番までに全国大会・組合について改めて色々と考えさせられました。

さて、少し視点を変えて全国大会を見てみましょう。全国大会を一つの商品として見るとどうか。全国大会という商品は果たして組合員にとって魅力ある商品でしょうか。

私が最近購入した本「超入門資本論」によると商品には「使用価値」と「価値」の2つがあると書かれています。詳述すると、需要と供給のバランスが取れている場合に限り商品の値段は「価値」通りに決まります。「使用価値」とは使うメリットで測られるとあり、「価値」とは商品を作るための労力の大きさで測られるといわれています。

その考えを当てはめると、全国大会という商品は、準備にどれだけの労力をかけたかで「価値」が決まります。ただ、「使用価値」がない、言い換えれば、組合員にとってメリットがないとどれだけ労力をかけても参加費に見合った商品にはなりません。



# JSERA 全国大会

私なりに思うに、全国大会の「使用価値」とは第一に交流の場、第二に問題提起の場、第三は学びの場、第四にはJSERAの活動報告とこれからの方向性を示す場の提供にあると思います。そして、組合員の価値観が各々違う中でも一番の関心事は問題提起の場の提供だと思えます。

それをJSERAとしてどう受け止めどう対処するか、これからのJSERAの真価が問われるところです。それにはJSERAの理事の人選がキーポイントになるのではないかと。理想論としては専従の理事が必要です。しかし、現状、それは理事にとって余りに負担が大きすぎて役割を果たし切れないのではないかと懸念されます。そうならないためには自明のことではありますが、全国大会開催までに開催県とJSERAが共同歩調をとって大会までのロードマップ作りに時間をかけ、全国大会に臨むことです。参加する組合員の不完全燃焼を防ぐためにも重要です。また、今回の石川大会のメインテーマ「スポーツ小売業の活性化のための女性のチカラ」の具現化としてJSERA理事吉田留美子 女性理事誕生がJSERAの活性化になるのではと期待されますし、期待したいと思います。

さて今回の石川大会、手前味噌ではありますが、交流の場としての役割「おもてなし」は出来たのではないかと思います。ここまで来るには紆余曲折がありましたが当組合員が共通の目標に向かって一致団結した証だと思いますし、一致団結する絶好の機会を当組合に与えてくださったことに改めて感謝します。

人が生き生きとするのは、人の為に尽くしているときです。又、一番輝いて見えるのもその時だと改めて思いました。今ほど当組合員を誇らしく思ったことはありません。

第15回石川大会がJSERA全国大会の歴史に「レガシー」として残れば当組合員にとってこれ程喜ばしいことはありません。又、そうあって欲しいと願って稿を閉じます。それでは皆さんご機嫌宜しく。



## 日本スポーツ用品協同組合連合会 平成26年度・27年度 新役員名簿

|      |       |                     |      |
|------|-------|---------------------|------|
| 理事長  | 重森 仁  | 滋賀県スポーツ用品協同組合       | 理事長  |
| 副理事長 | 武宮 兼敏 | 福岡県スポーツ用品小売商協同組合連合会 | 理事長  |
| 副理事長 | 角前 博道 | 三重県スポーツ用品協同組合       | 理事長  |
| 副理事長 | 美馬 義一 | 高知県スポーツ用品小売商協同組合    | 理事長  |
| 副理事長 | 松村 善行 | 宮城県スポーツ用品協同組合       | 理事長  |
| 専務理事 | 土赤 光宏 | 愛知県スポーツ用品商業協同組合     | 理事長  |
| 理事   | 関口 孝夫 | 埼玉スポーツ用品小売商業協同組合    | 理事   |
| 理事   | 穴戸 幸市 | 栃木県スポーツ用品販売協同組合     | 副理事長 |
| 理事   | 笹渕 信嘉 | 福岡県スポーツ用品小売商協同組合連合会 | 理事   |
| 理事   | 桑原 勇健 | 福島県運動具商業協同組合        | 理事長  |
| 理事   | 堀田 浩一 | 岐阜県スポーツ用品協同組合       | 副理事長 |
| 理事   | 前田 哲  | 大阪スポーツ用品専門店協同組合     | 副理事長 |
| 理事   | 辻川 準一 | 奈良県運動用具小売商協同組合      | 理事長  |
| 理事   | 渡邊 健介 | 広島県スポーツ用品協同組合       | 理事長  |
| 理事   | 吉田留美子 | 北海道スポーツ用品小売商組合      | 専務理事 |
| 監事   | 竹原 和彦 | 福井県スポーツ用品協同組合       | 理事長  |
| 監事   | 羽田野隆司 | D&M                 | 相談役  |

## 感謝状贈呈・功労者表彰名簿

### ◎ 感謝状贈呈

| NO. | 行 事       | 年度 | 組 合 名            | 理 事 長 |
|-----|-----------|----|------------------|-------|
| 1   | 国民体育大会    | 26 | 長崎県スポーツ用品協同組合    | 森 彰夫  |
| 2   | 全国高校総体    | 26 | 千葉県スポーツ用品組合      | 藤崎 幸仁 |
|     |           | 26 | 東京スポーツ用品専門店協同組合  | 後関 成夫 |
|     |           | 26 | 神奈川県運動具商協同組合     | 村山 明宏 |
|     |           | 26 | 山梨県スポーツ専門店協同組合   | 田邊 裕人 |
| 3   | 全国中学校体育大会 | 26 | 香川県スポーツ用品協同組合    | 篠原 正知 |
|     |           | 26 | 徳島県運動用品小売商組合     | 笹倉 泰治 |
|     |           | 26 | 愛媛県スポーツ用品小売商組合   | 萩森 幸輝 |
|     |           | 26 | 高知県スポーツ用品小売商協同組合 | 美馬 義一 |
| 4   | JSERA全国大会 | 25 | 鳥根県スポーツ用品組合      | 浅津 博行 |

### ◎ 功労者表彰

| NO. | 所 属 組 合 名        | 氏 名   | 店 名           |
|-----|------------------|-------|---------------|
| 1   | 北海道スポーツ用品小売商組合   | 古内 一枝 | (株)スポーツショップ古内 |
| 2   | 埼玉スポーツ用品小売商業協同組合 | 設楽 明久 | シダラスポーツ       |
| 3   | 東京スポーツ用品専門店協同組合  | 佐々木高丸 | (株)ササキスポーツ    |
| 4   | 神奈川県運動具商協同組合     | 前田 誠  | (有)扇屋運動具店     |
| 5   | 新潟県スポーツ用品小売商協同組合 | 伊藤 章  | (有)イトウスポーツ    |
| 6   | 石川県スポーツ用品協同組合    | 蓮田 茂樹 | (株)レングススポーツ   |
| 7   | 福井県スポーツ用品協同組合    | 藤田 悦邦 | (有)フジタスポーツ    |
| 8   | 静岡県スポーツ用品商業協同組合  | 見崎 晃  | (有)スウィングスポーツ  |
| 9   | 愛知県スポーツ用品商業協同組合  | 石川 信夫 | 榊原スポーツ        |
| 10  | 大阪スポーツ用品専門店協同組合  | 谷口 誠  | タニグチスポーツ      |
| 11  | 広島県スポーツ用品協同組合    | 山本 隆一 | (株)ジャパ        |

## レディースフォーラムを開催して

石川県スポーツ用品協同組合

甲 さき子

朝晩の寒暖の差も肌に厳しく感じられる季節となりました。

10月21、22日に開催されましたJSERA全国大会には、たくさんの方にご参加いただき、女性の方々には厚く感謝申し上げます。

北海道を皮切りに始まり、今回で3回目を迎えたレディースフォーラムでは、より多くの女性の方々にご参加いただくことをまず初めに考え、今回、5つのテーマを女性組合員からご提案いただきました。どのテーマも組合にとって重い課題ばかりです。

今回の石川大会のメインテーマが、「スポーツ小売業活性化のための女性のチカラ」です。

これまで討議されていたテーマでも、女性目線で討議してもらうことで、今までとは違った方策が見えてくることを期待し、企画しました。具体的な議題は以下の5点です。

1. ネット通販問題について
2. メーカー販促直販問題
3. 利益率改善について
4. 店主の高齢化と後継者
5. スポーツを通じての社会貢献

私のテーブルでは、1つ目の議題「ネット通販問題について」討論が行われ、有意義な意見交換が行われました。その中でも特に印象に残った意見が、ネット販売を店舗ごとに行うのではなく、商店街全体で業種の垣根を越え、互いの商品を各々のネットでも販売すること。これにより相乗効果が期待される、という意見です。これは実際に行われている手法で、助成金が出ているというお話を伺い、私を含め多くの方が驚き、そして高い関心を持っていました。またその一方で、ネット販売は薄利な利益しか見込めないとの意見もありました。今回一緒に討議した12店舗の方々もみな、店売りと外商が販売のメインであり、ネットを活用した販売をメインとしている店舗は少ないのが現状でしたが、メーカー問屋がJSERA会員のお店に対して卸価格を統一することを強く希望される意見が多く、賛同を得ていました。

今回の討論では、たくさんの女性組合員の方々が積極的に意見を発表し、大いに盛り上がったとともに、女性にはこんなにパワーがあったのかと改めて感心しました。また、今まで前面に出ることの少ない女性たちのこんなに活き活き輝いていることが今までであったのかと思うほど、それぞれの方が自分の意見をしっかりと発言していました。女性たちの考えを引き出すことができたことは、今回のレディースフォーラムの成果ではないかと思いました。

最後に、今回レディースフォーラムを開催して、同じ立場で同じように店頭に立って頑張っておられる女性の方々の意見を聞いて、女性しか感じられないことや気づきがたくさんあるということを実感しました。それが店舗経営にとってなくてはならない要因であると思いました。女性の持つ柔らかな接客、笑顔、ホッとさせる一言、男性社会にないおもてなしだなと思います。それを気づくことができたレディースフォーラムではなかったでしょうか。

年に一度行われるJSERA全国大会において、このレディースフォーラムが、来年の開催場所である長崎県においても継続して開催されることを切にお願いしたいと思います。女性組合員の方々に、来年も長崎でお会いできることを楽しみにしています。





## 「神奈川大会」

神奈川県運動具商協同組合

総体実行委員長 山岸 義明

暑かった夏を思い出すのにまず1番の思い出は、8月1日より15日まで開催された南関東高校総体神奈川大会のテント出店でしょう。今でも神奈川県総体準備室の担当者H氏の顔が夢に出てまいります。際限なく湧き出るトラブル毎に準備室にお邪魔をして解決策を模索しました。H氏の評価は理事長、事務局長さまざまですが私は及第点をお付けします。県が開催を確認して会場の初期手当てをしたのが5年前、総体準備室が発足したのが3年前、会場ごとの諸規定、ルール、決り事が全て一元化してないのは当たり前です。その中でJSERA各社又NESへの均等の販売条件を満足させるのは大変な事でした。我々業者と県本部・高体連との接点にあつたH氏の手腕に感謝の気持ちでいっぱいです。もちろん会場によっては出店経費が掛かったり急遽テントが張れず屋内販売に変更されたり100%では有りませんでしたが一応の出店が出来た事はH氏の功大と思います。

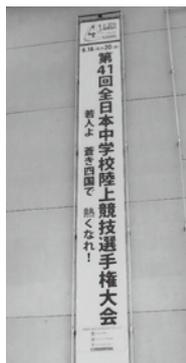
私は98年の神奈川国体では会計部長、12年の全中では副理事長、そして今回の総体では実行委員長を拝命しましたが、理事長・副理事長を始め



各理事の協力の下無事に終了出来たことを深く感謝申し上げます。

成績については種目・天候さまざまな要因がございます。NESの組合テントで猛暑の中首にタオルを巻き一生懸命販売頂いた組合員の光景がまだ目に焼き付いています。ただ隣の千葉県に大きく水をあけられた事と『藤崎理事長の笑み』をまだ頭の隅から消し去ることが出来ないのは何故なのか？





## 「全中四国大会を表敬訪問して」

JSERA 副理事長 角前博道

8月17日・18日両日四国3県（香川県・徳島県・愛媛県）を表敬訪問して来ました。

今年は昨年と異なり各地で雨の被害が相次いだ盆休み。出発する前、徳島でも豪雨の被害をテレビで知っていたので大会が開催されるのか等心配しての前日でした。伊勢からですと香川丸亀競技場まで約340キロ、4時間半の車の移動です。会場に到着するのがやっと。朝5時の出発でしたの



で、早お疲れ気味。会場の競技場が大変立派で大きくて、売店の場所を探すのに随分時間がかかりました。でも伊勢の赤福の本店からの餅（他の場所で売っているのとは少し違います。）で大変喜ばれました。お客も順調の様でした。1時間ほどいろいろ話しをして、次の松山ハンドボール会場へ急ぎました。地図で見るとかなりの距離。頑張っ

て出発。約2時間かかり開会式会場の武道館へつきました。愛媛の組合員さん達にもお土産の赤福を感謝され次の徳島への時間がかかるので40分程でよくお願いして会場を後にしました。松山から徳島までは、松山自動車道で川之江というJCT

まで。そこから今度は徳島自動車道で徳島まで走り続けました。約2時間ほとんど四国を横断する形になりました（距離は190キロ）。

この日は約9時間の車の移動。ぐったりです。

徳島駅前のホテルに着くや、横の食堂で簡単な食事を取り、すぐにゴーツーベッド。18日の朝まで何も知らずにグッスリ。朝7時に起き、この日は軟式野球会場へ。4つの会場で軟式野球競技が行われていました。そのうち2会場へ訪問。こちらも順調に売れている様でした。お土産の赤福が1会場分不足してしまいミスタードーナツにさせてもらいました。すみません。帰り道は530キロあるのでお昼頃には失礼して帰路につき、伊勢には5時間半程かかり、6時に着きました。

四国の組合員さんは、すでに多くの大会を今まで経験されている様で、行政との話し合いもうまく行い、随分優位に進んでいかれたのではないのでしょうか。それは各会場とも売店出店の場所がいずれもよく売れる位置にあった様に思われます。これから、三大大会を開催する各県は普段から行政とのパイプを太くするよう理事長を中心にまとまり行動することが肝要と思われ



## 第2回レディースフォーラム in 札幌



北海道スポーツ用品小売商組合

吉田留美子

4年ぶりにレディースフォーラムを秋が少しおとずれかけた北の街札幌で開催しました。今回は、メーカー側14名、組合側も14名、合計28名。10代から熟女(?)の60代迄の女子が、一同に集まり(前は14名)それはそれは楽しいひと時を過ごすことができました。

普段電話のやりとりはあっても、なかなか顔を合わせて会話をすることがほとんどなく、皆さん最初は緊張気味のスタートでしたが、自己紹介、おいしい食事をしていくうちに、なごやかな雰囲気になり活発な声が聞こえてきました。特にかたくるしいテーマは設けず、顔と名前を覚えることによって今後の仕事において少しでもプラスになればと企画したわけです。

私事ですが、このあと某メーカーに発注することになり参加してくれた女性と話をしたのですが、以前よりもお互いコミュニケーションがとれたように感じました。

余興でフロント女性達に、支店長達の評判を聞きましたところ、みなさん一同にとってもやさしいです!と答えてくれました。(上司は女性に相当

気を遣っているんですねー)

2次会もセッティングしたところ、8割がた参加して頂き盛んに名刺交換をしていました。ある女子社員は今回の為に名刺を20枚持ってきましたと意気込んでいました。普段あまり名刺交換をすることのない女性達にはとても新鮮だったのでしょうか?今の時代は、ネットで注文する時代ですが頼りになるフロントがいればこんなにこころ強いことはありません。小売店のために諦めないで商品を探してもらえればお店の信用もつきます。お互いが必要とされているそんな確信をあらためて感じた夕べのひとつときでした。

### 【参加メーカー】

- ・アシックス ・エスエスケイ ・ザナックス
- ・三共 ・デサント ・ベンゼネラル ・ミズノ
- ・ヨネックス

最後にみんなで集合写真をとりました。

### ハイチーズ!





### 新理事長として

秋田県スポーツ用品商業協同組合

理事長 吉田 隆久

この度、秋田県の理事長に就任しました吉田と申します。今後とも皆様のご支援、ご協力をいただきながら勉強し、ひとつずつこなしていきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

さて、その初めてといってもいい仕事として、この原稿、「理事長としての抱負を」という依頼を受けました。お答えします。「抱負はありません。」

思えば、5月の総会において、たった一人の反対票(自分です)だけで選出された時の挨拶は、「新理事長として、やりたいことは何もありません。ただ、何が何でも生き残ること。」というものでした。あれから4か月。特段変わったこともなく、無為無策のまま時が流れていきます。何もしなくても生き残れる「いい」時代ではないのは重々承知の上で、さて何をどうしてどうやって・・・

秋田県では、来年度全中の水泳と剣道が、再来年度マスターズ全国大会が、その翌年には年輪ピックと、大きな大会が予定されています。個店としてそのイベントをどう活かすかは個々の店の努力によりますが、県組合としては、この機会を利用していっそうの組織の強化を図り「組織として生き残れる」体制を作っていく重要な局面にあると思っています。願わくば、秋田県組合の加盟店が増加するように、少なくとも1店もかけることなくこの1年を、そして5年10年を乗り切っていけますように。

私には田中三夫元理事長、五嶋一夫前理事長のような強力なリーダーシップも実行力も人間力もありませんが、優秀な組合理事に助けられ職責を果たしていきたいと思っています。

今までスポーツ店としてメシを食べてきました。これからも運動具店のおやじとしてやっていきたいと思っています。



### 新理事長としての抱負

埼玉スポーツ用品小売商業協同組合

理事長 古姓 敬治

6月より理事長を務めさせていただいております所沢市の古姓でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

埼玉国体のあった10年前の2004年当時、10年後の今日、埼玉の組合がなくなるかもしれないと思った人は誰一人としていなかったと思います。しかし、これから10年後の2024年には組合は存在していないかもしれない、それはおおげさにしてもグーッと縮小化した組合になっているのではないかと思う方は少なからずいると思います。新体制になるに際し役員間で話し合いを設けたところ、組合組織の活性化が大きな課題だと全員が思っていました。既に後継者が働いている店も結構ありますが、その20代～40代の後継者がいる店では、組合に出席してくるのは社長である50代以上がほとんどであり、そしてその大半が、『うちの息子を組合に出すのは、まだ早い。』と答えます。それは当然のことだと思います。まだまだ現役の社長たちを引っ込めてしまうのは早すぎます。しかし、せつかく後継者がいるのに、後継者間の交流がないのはとてももったいないことです。早く彼らが顔見知りになり、同じ仕事をする者同士だからこそ悩みを語り合える“仕事を通じた仲間”になって欲しいのです。それがひいては組合活動の後継者へのスムーズなバトンタッチにつながると思います。集める以上、ただ、飲み食いするだけの場を提供するだけでは、若い者は出てきません。参加するに意味のある会にしなくてはなりません。その後は後継者たちが自らの手で作りあげて行って欲しいと思っています。簡単ではありませんが、小売店としては生き残りを、組合としては存続をかけた事業になると思っています。5年後どんな青年部になっているか楽しみです。



## 新理事長としての抱負

神奈川県運動具商協同組合

理事長 村山明宏

..... 一致団結 .....

「足並みをそろえて行こうじゃないか！」

この度、5月26日の通常総会に於きまして理事長に就任しました村山です。

1998年度の「神奈川国体」を契機で入会。この歴史ある組合の理事長就任に緊張しておりますが、組合の発展とこれからの新たな業界環境づくりに力を注いでいきたいと思えます。

本年の総会は、福井県の理事長「竹原理事長」様をお招きし、これからの組合の在り方、考え方、やり方、アイデア等の刺激ある講演を頂きました。それは「総会が20名以下の出席ならばやり直し」「年2回の総会を開催」や、また様々な事業展開をやられていることに感銘しました。(すごい！)

また本年は、南関東インターハイ神奈川大会が開催される大変忙しい日々を送りました。

お陰様で山岸実行委員長他、組合員のお力を頂き、色々バタバタありましたが、無事に終了する事が出来ました。

私の理事長方針は1.「組合活性化」各部、各事業の充実と活性化、2.「組合員増強」組合員増強で体質の改善と強化、3.「JSERAとの共生」JSERA事業への協力と利用、4.「継続案件の検討及び調査」価格正常化への対策、安心安全講習会開催、共同購入、運賃・組立費のカタログ掲載、5.「その他」収益事業の推進、各種イベントの参加、青年部設立、長期ビジョンの作成など、以上の方針を基に各担当理事と頑張っていく所存です。

タイトルで書かせていただいた「一致団結」サ

ブタイトル「足並みを・・」は私の個人的な感情と今の心境です。我々の置かれている環境がこれから良くなるのか、悪くなるのか、今組合員が一番知りたい情報であり、我々が「もっと真剣に」立ち向かわないと環境は変わらないと考えているからです。

重森理事長の提唱「安全安心講習会」は業界の切り札であり、これをきっかけに我々「業界の環境を良くする」「底上げ」をやるべきだと考えます。また、電気屋さんは「工事費」は頂けませんが、何故「スポーツ店」は頂けないのですか(組立費他)? は今までの継続検討テーマでした。そろそろ全国足並みをそろえて、メーカーへのカタログ記載等「目に見える改革」が絶対に必要と考えます。

私は全国の「運動具店」が「一致団結」し何か結果を(確かめたい)と考えます。

結びに、業界の発展、改革を念頭に積極的に推進し、組合員相互の親睦も深めながら、活動していきたいと思えますので、今後ともよろしくご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。





### 新理事長の抱負

京都運動具商協同組合

理事長 相根 正人

平成26年8月、第37期通常総会における役員改選で安井幸夫理事長の後任として、京都運動具商協同組合の代表理事を拝命いたしました、相根正人（サガネマサト）と申します。

本年50歳の若輩もので、京都北部の小さな町のパパママストアの店主ですが、歴代理事長様をはじめ、多くの諸先輩方々のご努力で、築いてこられました組合活動に、微力ではありますが一生懸命に取り組みたいと存じます。

私の組合デビューは昭和63年の京都国体の時でした。当時は85店の加盟店があり、その後、インターハイ、全中、組合の全国大会と様々な事業を経験させていただき、活動を通じて素晴らしい業界の仲間（先輩）と知り合うことができました。

その中、様々な問題点が提示され考える機会もありました。ネット通販問題、メーカーの直販問題、利益率の低下や後継者の問題などですが、暗い面ばかりに目を向けるのではなく、スポーツを通しての達成感、笑顔、人が人として健康に生きていく上で生涯欠かせない生活の一部としてスポーツは存在しているという事実、これを組合活動に役立てるよう努力していきたいと思っております。

そして、はずしてはならない組合活動での一番のメリットは「人とつながり・絆」です。

私達は「スポーツの仲間」、として商売の共通点を持っていますので、自分たちの抱えた悩みや問題点を本音で語り合いお互いの知恵を出し合い、ノウハウを提供しあったり、議論をしたりして改善する努力をし、たとえ一人の力は小さくても一致団結し自ら行動する事により、それを大きなエネルギーにかえ、自分達の地位の向上と商売の発展の為にアクションを起こしたいと思っております。

最後になりましたが、この様な貴重な経験の場を与えていただきました京都組合の皆様へ感謝するとともに、近畿ブロックの皆様、JSERAの皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

### 新理事長としての抱負

愛媛県スポーツ用品小売商組合

理事長 萩森 幸輝

この度、2月の定期総会におきまして高倉浩紀前理事長の後任として、就任致しました萩森幸輝と申します。

愛媛県は現在28店の組合員で活動しており、先輩方の知恵で東予地区、中予地区、南予地区の3ブロックで2年ごとに新理事長を選出していますが、ここにきて今のシステムの限界を感じています。

今、我々スポーツ小売業を取巻く環境は、益々厳しくなり、大型店、ネット販売、消費税増税、少子高齢化等による販売不振だけではなく、地方は特に人口減少の問題が大きく、危惧しているところです。

組合事業ですが、8月には、全国中学校体育大会が四国で開催され、愛媛県は5競技8会場を、ほぼ全組合員によって分担販売活動を行いました。9月は、JSERA四国ブロック香川大会、10月は、「体育の日キャンペーン」11月は、10年以上続いている全組合員対象の意見交換会を行います。現況報告や、今後の活動方針等を決めるだけでなく、今回は3年後の平成29年の第72回国民体育大会、えひめ国体に向けての協議です。このえひめ国体は、昭和28年に四国4県で共同開催して以来、64年ぶり、初の単独開催となるものです。

我々も、愛媛県単独の大きな大会の経験がなく不安ではありますが、今年の中中の体験を踏まえ万全の準備をして、組合員全員の参加で成功させたいと思います。そして、若い組合員、あまり組合活動に参加出来なかった組合員、国体の売店活動を通じて今以上に組合員の交流が図られ、世代交代がスムーズに出来ればと思っています。

### 新理事長としての抱負

熊本県スポーツ用品協同組合

理事長 福島 誠 剛

平成 26 年 2 月の通常総会において、田原春理事長の後任として熊本県スポーツ用品協同組合の理事長に就任致しました、有限会社エントリースポーツの福島誠剛です。我が熊本県では、現在 25 店の加盟により組合活動を行っており、2 年ごとに役員改選をしております。前任の田原春氏には 6 年間御尽力を尽くして頂きました。ここにお礼を申し上げます。

熊本県では 2001 年に全国高校総体が行われて以来、大きなイベント（国体、高校総体、全中）がなく、組合員一致協力しての事業活動がなく、盛り上がり欠けている状態でしたが、7 年前に松岡元理事長、田原春前理事長のもとオリジナルの石灰（スクールライン）を開発し、組合員全員で販売をしていくことが出来ました。現在では、1 万 5 千袋以上の売上があり、報奨金を出していくことが出来るようになりました。この事業をより拡大、充実し組合に充分の収益があがるよう頑張っていきたいと思っております。また、これとは別に新たな事業を考案推進し、組合員であることが良かったと思える組合にしていき、組合員の相互の交流と親睦を十分考慮しながら運営をしていきたいと思っております。

2017 年には全中（陸上・サッカー）が熊本県で行われます。また、2019 年には南九州高校総体、世界ハンドボール選手権も行われる予定です。組合員全員で一致団結し売店事業を成功させたいと思っております。

今後ともご指導ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

### 新理事長としての抱負

大分県スポーツ用品協同組合

理事長 相良 貢 吉

この度、大分県スポーツ用品協同組合の理事長に選ばれました相良と申します。よろしく申し上げます。昨年、北部九州総体が開催され組合員皆様の協力が無事に終了致しました。国体、全中と大きなイベントが無事に終了したことに安心しております。今後の組合の活動をどう行なうか、組合員で話し合っていかなければいけません。機会があれば、皆様の組合で行っていることを教えていただきたいと思っております。

私は日田市という人口 7 万人の町で営業しております。当店の顧客は小学生からお年寄りまで客層の幅は広いです。高校は 5 校、中学校は 12 校、小学校は 18 校の小さな町です。生徒数も少なく、高校の定員数も減少するばかりです。当然部活動生の数も減っています。地域には大学や大きな会社もありません。

小学生の野球、サッカー、バスケットのクラブチームはありますが、子供の数の減少で合併したり廃部になったりしています。そういったなかで、元気のある人たちがいます。その人たちが、60 歳以上のグラウンドゴルフをしているシニアの方たちで朝のグラウンドゴルフの練習の帰りにご来店頂き、いろいろなお話を聞かせてくれます。

私がいつも思うのは、このお客様にグラウンドゴルフの用品だけでなく、ウェアやシューズなどもっと多くの物を購入していただきたいと思っております。スポーツ業界に望むのは、シニアに対してのモノ作りです。これから、シニアの方々の売上抜きには売上増加は望めません。私は地方の実状をもっと商品を企画する人に知っていただきたいと思っております。私と同じような地域で営業されている方々もいると思っております。皆様の声を参考にしてシニアの方に喜んでもらえるようになり、またシニアの方だけでなくスポーツ業界全体がもっと元気になるよう皆様と共に頑張っていけたらと強く願っております。

## 第16期 第1回理事会報告

日 時：平成26年9月4日（木） 11：00～16：30  
場 所：東京スポーツ会館4階 会議室

### <報告事項>

#### 1. 理事長報告

- ・〔7月29日〕全国大会出席依頼のため、アシックスとデサントへ出向く（蓮田専務理事共）
- ・〔7月30日・8月25日〕活路事業のため東京（9月10日も予定）

#### 2. 委員会報告

<活性化委員会> 土赤委員長  
・ボールを贈ろう事業を実施いただいてない県に対して促していく。

<共生委員会> 武宮委員長  
・直販問題について対応。

<広報委員会> 角前委員長  
・ネット販売による球技ボールの価格の著しい乱れに対してメーカーと協議した。

<事業委員会> 関水委員長  
・儲かる商材が見つからない。今後の課題。

<総務委員会> 蓮田専務理事  
・7月29日理事長と共にアシックスとデサントへ  
・全国大会（石川大会）の準備

#### 3. インターハイ・全中の結果報告

- ・陣中見舞い  
インターハイ：東京・神奈川⇒関水副理事長  
千葉・山梨⇒関口理事  
全 中：香川・徳島・愛媛⇒角前副理事長  
高知⇒美馬理事

・ここ数年は10～11月に伝達会議を開催していたが、予算の関係上2月のJSECの会議終了後に開催してみてもどうか？  
但し、会議までに中体連や行政とのコネクションを取っておくこと。

### <審議事項>

#### 1. 全国大会（定時総会）石川大会の件

- ・決算の件  
資料の通り。
- ・事業報告の件  
各委員会、資料を基に補足・修正をした。
- ・事業計画・予算の件  
資料の通り。
- ・功労者表彰の件  
資料の11名を表彰する。
- ・記念品の件  
加賀友禅染 正絹風呂敷に決定。（12点候補よ

り選定）

功労者表彰者11名と森 喜朗氏・石川県知事・金沢市長の計14名へ贈る。

- ・定時総会の役割分担を決めた。
- ・感謝状贈呈は全員壇上に上がり、全中・総体に関しては陸上競技開催県（香川県と山梨県）が代表で受け取る。

（全員一致で承認）

#### 2. 理事選出の件

- ・次期役員候補者を選考するに当り、まだ未定であった候補者を選出した。

（全員一致で承認）

#### 3. 「アゲイン」タイアップポスターのキャッチコピーの件

- ・JSERA年間スローガンの“スポーツで元気な日本を創ろう！”に決定。

（全員一致で承認）

#### 4. 「無害君」商標更新登録申請の件

- ・10年分一括納付で登録料を支払う。
- ・登録料金一部負担を旭鉦末に交渉する。

（全員一致で承認）

#### 5. キヤノン複写機補修用性能部品供給期限の件

- ・故障・不都合が生じてから対応することとする。

（全員一致で承認）

#### 6. ビジネスフォン増設・修理対応終了の件

- ・故障・不都合が生じてから対応することとする。

（全員一致で承認）

### <協議事項>

#### 1. ホームページアンケート結果の件

- ・レポートと共に1318組合員に配布し81枚の回収。
- ・ホームページの内容等今後の課題。

#### 2. 「体育の日」ボールを贈ろうの件

- ・まだ計画書が出ていない組合が多いので、近県に促してもらいたい。

#### 3. その他

- ・各スポーツ店にAEDを設置できればいいのでは。メンテナンスや金額等々の課題があるので今後検討していく必要がある。

## 映画紹介

今回紹介する映画「アゲイン 28年目の甲子園」(2015年1月17日(土)公開)は、スポーツを通して明るく元気な子どもたちや日本を創っていく映画です。JSERAとしても私たちに相応しい映画でもありますので、応援協力をさせていただく事になりました。それでは詳しくご案内します。



これからの人生を、大切な人と、どのように歩いていきますか？

1・17 SAT ROADSHOW

中井貴一 波瑠 和久井映見 柳葉敏郎  
門脇麦 太賀 工藤阿須加 村木仁 細内敏子 / 西岡徳馬  
原作 / 重松清「アゲイン」 監督・脚本 / 大森寿美男  
主題歌 / 浜田省吾「夢のつづき」 音楽 / 梁邦彦

www.again-movie.jp

制作 / 「アゲイン」制作委員会 配給 / 東映 © 2015「アゲイン」制作委員会

たどりついたのは、「父」が恋い焦がれた夢の舞台でした。

「とんび」の直木賞作家・重松清の感動作。主題歌は浜田省吾の10年ぶりの新曲「夢のつづき」。



28年間しまいこまれた一つの真実。「あの夏」を越えて今、夢の続きが始まる。

元高校球児・坂町晴彦のもとに、亡くなった元チームメイトの娘・美枝が訪ねてきた。〈マスターズ甲子園〉の学生スタッフとして働く美枝から大会への参加を勧められた坂町だが「今さら」と断る。28年前の事件——。坂町達が甲子園に行けなかった原因は、実は美枝の父にあったのだ。それは思い出したくない過去であり、美枝にだけは話したくなかった。

しかし父親の思い出を追い求める美枝と接するうちに、坂町は離れて暮らす一人娘とずっと向き合ってきたことに気付く。そして現実と折り合いをつけ、思い出を上手に諦めることで、自分自身を騙し続けてきたことにも。「あの夏」に決着をつけなければ前へは進めない。同じ思いを抱えた仲間と共に、坂町は再び人生のグラウンドへ走り出すことに決めた。

## オリンピック・こぼれ話し(5)

### 広報委員長 角前博道

IOCと近代オリンピックは、クーベルタン男爵が尽力した発足時から、多くの危機をくぐりぬけてきたと思われています。その中でも顕著なものが、戦争や冷戦下での大会中止やプロパガンダ、ボイコットとなって現われた政治的圧力の影響です。その時々オリンピックは、生き残りをかけてどう動いたか、検証してみたいと思います。まず始めに、1914年6月、近代オリンピック創立20周年を祝っていた総会の最終日、第1次世界大戦へと続いていく、オーストリア皇太子の暗殺事件が発生します。ここで初めてIOCは、オリンピック運動継続の危機に直面します。

一応1916年大会開催地はベルリンに決まっていた。しかしドイツがオーストリア側に付き、英国フランスとの戦争に突入すると、あくまでベルリンで開催することを主張するドイツと、他国への変更を主張する連合国の圧力の間で、IOCの苦しみが始まります。IOCは、オリンピックはあくまで、政治から独立したものであるとしていた。それでドイツが「味方と中立国の選手団のみオリンピックに迎える」と明言すると、クーベルタン会長が決めたのは、「1916年のオリンピック開催権は、ベルリンに与えられた荣誉だけオリンピックが実施されないこともあり得る」と云う結論であった。近代オリンピックが始まりわずか20年しか経っていないのに、1916年のオリンピックは、こうして返上ではなく、不開催となりその歴史に汚点を残すこととなります。前にも書きましたが古代オリンピックは、1169年間ただの一度もこの様なことがなかったのに…！青少年の教育と世界平和を理想として掲げていたのに。

1936年ベルリンオリンピック。別名「ヒットラー五輪」と呼ばれるナチス政権下のこの大会は、オリンピックが政治の大規模なプロパガンダに利用された最初の、そして最大の出来事でありました。

「ヒットラーの目的は国際社会に対し、政権が平和を守り、人権差別もなく公平で、素晴らしい組織力を持つ近代国家であることを印象付けることでありました。ベルリン大会は、壮大だった。当時としては、威容を誇った史上最高の10万席のスタジアム、50万人収容出来る隣接の広場も、そしてギリシャのオリンピアとベルリンの間三千キロを結ぶ史上初の聖火リレー。ラジオやテレビを使った最初の実況中継。そしてベルリンの目抜き通りは一新され、カギ十字の旗と組織された大衆で埋め尽くされました。ただ現在でも五輪をその国のプロパガンダに使うことは、程度の差こそ

あれ今でも続いている。そして今一つ大きな問題があります。今では全くと云っていい程ではありませんが、人権差別の問題です。

1932年ロサンゼルス五輪において、ナチス系の新聞が書いた記事に次の様なものがあったそうです。それは「動物と人間が競争するのは、不公平だ。次のベルリン五輪では、一人の選手と7匹の犬が走るような事態は起こらないだろう。」この動物とは黒人選手のことを指すのです。とんでもないことですが当時のナチス政権下ではこの様なことがあったのです。ただそんなナチスとヒットラーにとっては皮肉なことに、ベルリン五輪のヒーローは4つの金メダルを獲得した米国の黒人選手、その名も「ジェシー・オーエンス」でありました。すこし前かがみになりながら、猫背でどんどん加速して走るその姿は、私にとっては（中学、高校と陸上の選手だったので）あこがれの人で、そのスタイルをまねて走ったものです。

ナチスは、政権を取った五輪の約3年前後、国内のスポーツクラブからユダヤ系を締め出しており、能力のあるユダヤ系選手は海外にその活路を求めていったそうです。

この様な事実に、なぜIOCは目をつぶったのか、ナチスが数く報道管制で、実態調査に訪れたブランデージ（のちの第5代IOC会長）もだまされてしまったくらいだから、真実を見極めるのは難しかったのであろうと思われています。しかしこのナチス政権のすばらしい資金力と、組織力に裏付けされたベルリン五輪を開催させたい余り、多くの批判に耳を貸さなかったIOC。そして五輪存続と成功が開催国の政権問題より大事。今も変わらないIOCの体質が「世界をだました男」ヒットラーに加担する形で、五輪史上に汚点を残すこととなります。

(次号へつづく)

## 編集後記

西アフリカ地方で、エボラ出血なる伝染病が、猛威を振っている。ザイールのエボラ川あたりで発症し一時その威力が失われていたのに、今回シオラレオネ、リベリア、ギニアの三国で特に発症件数が多く、すでに一万人以上に伝染し、五千人程の人々が亡くなっている。国連でもWHOを通じてその撲滅にやっきとなっている。そこで、日本の富士フィルムホールディングスの子会社が開発したインフルエンザ薬「アビガン」が有効との事で、国際的に承認される可能性があるとのこと。承認されれば世界初とのことで、現在フランス・ギニア両政府が11月中旬からギニアで臨床試験を実施し、12月末に結果が出る見通し。承認されれば、多くの患者が発生している西アフリカ諸国に日本政府と通じて提供されるそうです。これが真の国際協力の様に思います。「アビガン」の効力がエボラ出血熱に効くことを祈るばかりです。

(H.K)